

ケリー候補 補勝したら牛丼消える!?

対日強硬の民主党で政策見直しも

世界中が注視する米大統領選が2日(日本時間同日深夜)、投票開票される。イラク戦争の是非をめぐる米国内は二分。優勢とされたブッシュ大統領(58)と共和党を、「逆転のケリー」の異名を取るケリー上院議員(61)民主党が猛追し、



04-11-2
ブッシュとケリー
米大統領選
あす投票開票



先週、輸入再開にめどが立った米国産牛肉。BSE

行方は混とんとしている。親密関係にあるブッシュ政権が再選せず、ケリー政権が誕生するとうなるのか。専門家からは「ケリーが勝てば、牛丼が消える」など思わぬ余波を懸念する声があがった。

現在、日米関係は「過去最高」と呼ばれるほど親密だ。小泉首相とブッシュ大



▲激戦のアイオワ州で支持者に応える民主党のケリー候補(ロイター)。「ミネソタ州で支持者と握手するブッシュ大統領(ロイター)

統領の個人的な友情だけでなく、「そもそも共和党は同盟国に対して割とおおらか」(政治ジャーナリストの山村明義氏)。日本側もイラク問題などで追従姿勢を見せるが、一方で米側も「曾我ひとみさんの夫・ジェンキンス氏の帰国問題などで配慮を示している。

それが、ケリー氏の民主党政権になると、どうなるか。米国有数のシンクタンク「外交問題評議会」で日本人初の研究員になった民主

民主党にはまた「ジャパン・バッシング」を唱えたケッパート下

再開問題は、再開に向け一歩前進のアピールを大統領選に間に合わせた。米側が譲歩し、これに日本側が配慮した格好。再開時期も明記し

市場が標的になるだろうが、強者ぞういだけ「利益があると思えば、あらゆる分野に参入して来る」と長島氏。

▼12月13日 各州で選挙人が投票。

その際、政治的には官邸、自民党は共和党べったり。民主党とはゼロから関係を築くことになる。山村氏。キャッチボールでブッシュ大統領と親交を深めた小泉首相だが、ケリー氏はアイヌホッケー好き。「うまくいかなければ政権の寿命が大幅に短くなる」(山村氏)の声もあり、ケリー氏が勝

ては、牛丼が消えるだけでは済まない可能性もちらついているのだ。(小松 雄大)

▼05年1月6日 上下両院合同会議で開票(予定)。正式に新大統領を選出。

▼同日 大統領就任式。